リスクコミュニケーションに関する取組について

リスク分析の考え方に基づき、リスク管理、リスク評価を実施する関係行政機関が連携して、リスクコミュニケーションを推進している。食品安全委員会、厚生労働省、農林水産省、環境省では、それぞれの担当官による4府省リスクコミュニケーション担当者会議を定期的開催するなど調整を図りつつ、従来型の一方的な情報提供にならないよう、分かりやすい情報の提供や御意見募集など双方向のコミュニケーションの実現に努めている。

第22回リスクコミュニケーション専門調査会（平成18年2月20日）での報告以降、食品安全委員会、厚生労働省、農林水産省が連携して実施した意見交換会は、以下のとおりである。

また、各府省が行ったリスクコミュニケーションに関する取組を別紙1, 2, 3に示す。

1. 三府省連携による意見交換会（平成18年2月17日～平成18年3月16日）

No	開催日	会議名	開催地
		講演テーマ・講演者	参加人数
1	2月21日	食品に関するリスクコミュニケーション（農薬のリスクアナリシスに関する意見交換会）	香川県
		食品のリスクアナリシス - 農薬のリスクアナリシスを例として - 食品安全委員会リスクコミュニケーション専門調査会 座長 関澤 純	127名
2	2月24日	食品に関するリスクコミュニケーション（輸入食品の安全確保及び残留農薬等のポジティブリスト制度の導入についての意見交換会）	鹿児島県
		輸入食品の安全確保について 厚生労働省食品安全部企画情報課長補佐 広瀬 誠 残留農薬等のポジティブリスト制度の導入について 厚生労働省食品安全部基準審査課長 伏見 環	314名
3	2月24日	食品に関するリスクコミュニケーション（かび毒に関する意見交換会）	大阪府
		かびとかび毒 - 食品汚染と健康影響 - 食品安全委員会かび毒・自然毒等専門調査会 専門委員 芳澤 宅實 かび毒のリスク低減とGAP 農林水産省消費・安全局農産安全管理課 課長補佐（生産安全班） 佐藤 京子	156名

		小麦栽培における赤カビ病防除と対策 有限会社グリーンにしはりま代表取締役社長 太田 和男	
4	2月28日	食品に関するリスクコミュニケーション(大阪)(大豆イソフラボンを含む特定保健用食品の食品健康影響評価(案)に関する意見交換会)	大阪府
		大豆イソフラボンを含む特定保健用食品の食品健康影響評価(案)について 食品安全委員会新開発食品専門調査会専門委員 池上 幸江	126名
5	3月2日	食品に関するリスクコミュニケーション(東京)(大豆イソフラボンを含む特定保健用食品の食品健康影響評価(案)に関する意見交換会)	東京都
		導入 食品安全委員会新開発食品専門調査会座長 上野川 修一 大豆イソフラボンを含む特定保健用食品の食品健康影響評価(案)について 食品安全委員会新開発食品専門調査会専門委員 山添 康	147名

2. 今後の予定

開催日	会議名	開催地
3月27日	食品に関するリスクコミュニケーション(輸入食品の安全確保及び残留農薬等のポジティブリスト制度の導入についての意見交換会)	新潟県
3月30日	食品に関するリスクコミュニケーション(東京)(重金属と食品の安全性(仮題))	東京都

食品安全委員会におけるリスクコミュニケーションに関する取組について

最近(平成18年2月17日~平成18年3月16日)の実施状況

1. 意見交換会等の開催状況

3府省連携による意見交換会

平成18年2月28日、3月2日に大阪、東京で、大豆イソフラボンを含む特定保健用食品の食品健康影響評価(案)に関する意見交換会を開催した。大阪会場では、池上幸江新開発食品専門調査会専門委員から、また、東京会場においては、上野川修一同専門調査会座長による導入後、山添康同専門調査会専門委員から、「大豆イソフラボンを含む特定保健用食品の食品健康影響評価(案)について」のテーマで講演をいただいた。

その後、消費者代表、食品関連事業者等をパネリストとするパネルディスカッションを行い、会場参加者との意見交換を行った。

2. 意見・情報の募集実施状況

募集期間	案件名	応募状況 (通数)
平成18年3月16日 ~4月12日 (4週間)	シアゾファミドに係る食品健康影響評価に関する審議結果(案)についての御意見・情報の募集	実施中
平成18年3月16日 ~4月12日 (4週間)	エンロフロキサシンを有効成分とする製造用原体(バイトリル原体) 鶏の飲水添加剤(バイトリル10%液) 牛の強制経口投与剤(バイトリル2.5%HV液)並びに牛及び豚の注射剤(バイトリル2.5%注射液、同5%注射液、同10%注射液)の再審査及びエンロフロキサシンの残留基準設定に係る食品健康影響評価に関する審議結果(案)についての御意見・情報の募集	実施中
平成18年3月9日 ~4月5日 (4週間)	「オーラルヘルスタブレット カルシウム&イソフラボン」、「イソフラボンみそ」、「大豆イソフラボン40」に係る食品健康影響評価に関する審議結果(案)及びその別添として取りまとめられた「大豆イソフラボンを含む特定保健用食品の安全性評価の基本的な考え方(案)」についての御意見・情報の募集	実施中
平成18年3月9日 ~4月5日 (4週間)	小麦粉を主たる原材料とし、摂食前に加熱工程が必要な冷凍パン生地様食品についてはE.coli陰性の成分規格を適用しないことに係る食品健康影響評価に関する審議結果(案)についての御意見・情報の募集	実施中
平成18年3月9日 ~4月5日 (4週間)	メトコナゾールに係る食品健康影響評価に関する審議結果(案)についての御意見・情報の募集	実施中

平成 18 年 2 月 23 日 ～ 3 月 22 日 (4 週間)	アルギン酸アンモニウム、アルギン酸カリウム及びアルギン酸カルシウムに係る食品健康影響評価に関する審議結果(案)についての意見・情報の募集	実施中
---	--	-----

3 . 情報の発信

時 期	媒 体	内 容
H18.3.9	ホームページ	大豆イソフラボンを含む特定保健用食品(3品目)の食品健康影響評価(案)のポイントについて掲載
H18.2~3		鳥インフルエンザのQ & Aを随時更新

4 . その他の取組

(1) 「食の安全ダイヤル」を通じた質問・報告の把握

・受付件数(平成18年2月～平成18年3月16日)

内 訳	2月	3月16日現在
食品安全委員会関係	13件	5件
食品の安全性関係	90件	27件
食品一般関係	20件	5件
その他	0件	2件
合 計	123件	39件
(B S E 関係)	(22件)	(5件)
《大豆イソフラボン関係》	《 56件 》	《 18件 》

主な意見

・大豆イソフラボンを摂りすぎるとホルモンのバランスを崩すおそれがあるなどと報道されていますが、大豆食品の摂取は控えたほうが良いのでしょうか。(2月)

(2) 「食品安全モニター」を通じた意見等の把握

1月中には、米国産牛肉等の輸入再開に関する意見を中心に49件の報告があった。リスクコミュニケーション関係では、季刊誌やメディアについての意見があった。また、2月中に64件、3月(16日現在)17件の報告があった。

なお、平成18年度食品安全モニターについては、約1500人から応募があり、現在依頼に向けた準備を行っている。

厚生労働省におけるリスクコミュニケーションに関する取組について

最近(平成18年2月17日～平成18年3月16日)の実施状況

1. 意見交換会等の開催状況

・食品安全委員会、農林水産省、鹿児島県、鹿児島市とともに、輸入食品の安全確保及び残留農薬等のポジティブリスト制度の導入についての意見交換会(鹿児島県鹿児島市)を開催(2月24日)。

2. 意見募集の実施状況

対象期間中に募集を開始した案件はありませんでした。

3. 情報の発信(平成18年2月17日～平成18年3月16日)

(1) 食品の安全確保に向けた取組のホームページ「食品安全情報」

食品の安全確保に向けた取組について「食品安全情報」のホームページにまとめ、情報を提供。

(2) 主な情報提供の内容

時期	媒体	内容
H18.2.28	ホームページ	食品中に残留する農薬等の基準に係るポジティブリスト制度について(英語版)
H18.3.3	ホームページ	米国農務省の「日本向け牛肉輸出証明プログラムに関する調査結果・対策報告書」の日本語訳(仮訳)の公表について
H18.3.7	ホームページ	米国農務省の「日本向け牛肉輸出証明プログラムに関する調査結果・対策報告書」に関する米国政府への照会について
H18.3.7	ホームページ	輸入届出における食品衛生法違反事例(速報)(平成18年1月～)
H18.3.10	ホームページ	カナダにおける日本向けの牛肉認定施設の査察について
H18.3.15	ホームページ	牛海綿状脳症(BSE)確定診断の結果について

4. その他

「食品の安全に関するリスクコミュニケーションの在り方に関する研究会」を開催し、平成17年度の厚生労働省のリスクコミュニケーションの取組を報告するとともに、平成18年度のリスクコミュニケーション事業運営計画について検討した。(3月13日)

農林水産省におけるリスクコミュニケーションに関する取組について

最近（平成18年2月17日～平成18年3月16日）の実施状況

1. 意見交換会等の開催状況

(1) 大臣、消費・安全局との意見交換会・懇談会の開催
期間中の開催実績なし。

(2) 個別テーマごとの意見交換会等

2月27日、植物検疫について、消費者、生産者等関係者の方々に理解を深めていただくとともに、今後のあり方について考えていく意見交換会を開催（熊本県）。

3月6日、ポジティブリスト制度について、消費者、生産者をはじめとする関係者の方々に理解を深めていただくとともに、生産現場での問題点とその対応について意見交換を行うため、意見交換会を厚生労働省とともに開催（東京都）。

(3) 地方農政局等における意見交換会等の取り組み

地方農政局、地方農政事務所、沖縄総合事務局において、シンポジウムや意見交換会等の主催やパネラーや講師の派遣を実施。

主な意見交換会

2月21日 農薬のリスクアナリシスに関する意見交換会（中国四国農政局）

2月24日 かび毒に関する意見交換会（近畿農政局）

「平成17年9月末現在での件数」

シンポジウムや意見交換会等の主催 全国計 410回（17年4月～）

（平成15年7月～17年3月 全国計 2,224回）

パネラーや講師の派遣 全国計 2,233回（17年4月～）

（平成15年7月～17年3月 全国計 9,784回）

2. 意見募集の実施状況

募集期間	案件名	応募状況 (通数)
H18.3.15 ～4.15	動物用生物学的製剤基準の一部改正案に係る意見・情報の募集	(募集中)
H18.3.10 ～4.10	遺伝子組換え生物等の第一種使用規程の承認申請案件に対する意見・情報の募集	(募集中)

H18.3.8 ~ 4.7	遺伝子組換え生物等の第二種使用等のうち産業上の使用等に当たって執るべき拡散防止措置等を定める省令の一部を改正する省令案に対する意見・情報の募集	(募集中)
H18.2.21 ~ 3.23	植物防疫法施行規則の一部改正(メキシコ合衆国産トマトの生果実の輸入解禁)	(募集中)

3. 情報の発信

ホームページやメールマガジンを通じた情報提供

ホームページのサイト「消費」(URL: <http://www.maff.go.jp/syohi.html>)

「食品安全エクスプレス(旧名 食の安全・安心トピックス)」(食品安全委員会、厚生労働省、農林水産省の食品の安全に関する情報を毎日発信中)

(配信数: 15,287通(3月16日現在))

(URL: <http://www.maff.go.jp/mail/index.html>)